

第2回 「人間」のいのち・細胞 を生かす身心一体科学」

「自分が生きていること」をサイエンスしてみませんか。フロアの皆さまとの
双方向コミュニケーションで進行する参加・体験型のカフェです。

日時 平成23年7月8日(金) 18:30~20:30

場所 文部科学省情報ひろばラウンジ(旧庁舎1階)

講師 跡見 順子 (日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授)

ファシリテータ 田原 淳子 (日本学術会議連携会員、国士舘大学 教授)

テーマ 「人間」のいのち・細胞を生かす
身心一体科学」

定員 30名(申込み:科学技術週間HP: <http://stw.mext.go.jp/>から)

アジアの古い文化を昇華させる技をもつ日本から、原発事故などではなく、世界に向けて発信しなければならないことがあります。それは身心一体科学創成。人間とは何かを科学する時代がきました。2倍に伸びた寿命のその後半の半世紀をどう生きるか、それには運動が決定的に重要です。また心を元気にするにも運動が必須です。しかし身体をこわしてしまっは元も子もない。私たちの体の中で生きている「細胞達の身になって」PPK(ピンピンコロリ)戦略を考えます。

文科省 情報広場 **身心一体科学**で120歳まで**元気**に生き生きと**サイエンスカフェ** 第2回
 2011.7.8 実習を通して「身心一体」的理解を：細胞観察・DNA抽出・ストレッチ・心筋細胞・心臓と心筋細胞の関係・他の細胞・細胞も身体も、力を発揮して仕事をするには「支点」が必要・支点と視点と始点をつなぐ努力で「身心一体」学習

「人間」のいのち（細胞）を生かす身心一体科学

東京大学・セルツーパーボディダイナミクス ラボ Cell to Body Dynamics
 代表 跡見順子 (東京大学名誉教授)

「自分を知る」科学は、「人間を生きる」鍵です：古来「実体としてのからだの多様な感覚系モダリティ」が、自分のいのちを守るために生み出してきた・武術・祈りの作法とその本質を、「ことば(知識/論理)=科学」にする必要があります。「**こころ**」を、身心の関係性の中に位置づけて、はじめて人間システムのコアとして機能します。実際に「行動」「出力」「行為」することで、「**人間の条件・三つの柱：こころ・からだ・ことば**」が融合し、人間は**納得し、創造**するモードに入ることができるように進化してきました。「一歩、歩む」一それは人間システムの起動であり、身体を動かしながらの「試行錯誤」の過程こそ、身心がともに生きます。



私たちのグループの紹介：「夏学」H「自分の身体のシステムを知る」

跡見 順子(東京大学名誉教授・アイソトープ総合センター特任研究員・日本宇宙生物科学会)

富田-横谷香織(筑波大学大学院・生命環境科学研究科・講師・日本宇宙生物科学会)→男女共同参画学協会連絡会

同参画学協会連絡会

清水 美穂(東京大学大学院情報理工学研究所・知能機械・特任研究員・日本宇宙生物科学会)

藤田 恵理(東京大学大学院情報理工学研究所・知能機械・特任研究員・日本宇宙生物科学会)

2009年8月13日(金) 国立女性教育会館【実験・実習】10:00~12:00 107研修室



跡見順子：都立駒場高校から第二志望で入ったお茶の水女子大・保健体育科で生理学・脳科学を学ぶ。「人間のからだに見事なシステムを発見」、東大院・教育学研究科に進学し学位を取得(運動生理学:エアロビクス)。重力場で進化した生物の「使わない・使えないと弱り死んでゆく細胞の原理=活動依存性遺伝子発現・生存原理」を細胞から身体まで追及。本プログラムは、東大教養課程の必修授業に組み込んだ「身体から生命の原理を知る」実習授業。立位で出産を行う女性が「120年間、人間らしく生き切る」ための重力健康科学の授業である。「宇宙環境」は地球生命を知るための反面教師である。

富田-横谷

香織：大垣高校-日本女子大家政(現理学部)-広島大で学位取得(学術博士)

専門：重力植物学、植物や微生物由来の機能分子



清水美穂：

立教女学院高-昭和大薬学部-昭大院薬修士-北大院薬(薬学博士)-JSPS DC,PD-ヒューストン(米)ポスドク,基生研-JST黒田カイロモルフォロジープロジェクト生物GL-現在



藤田恵理：

都立国立高校-東大文III(教育学部)-東大院総合文化研究科(学術博士)-現在

